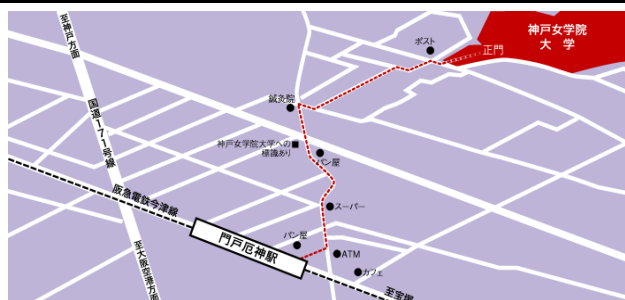


「文学の中の女 一歩く女」

第1回	「浮遊する日系少女」	文学部英文学科 元教授 吉田 純子
5月25日(金) 14:00~15:30	日系アメリカ人作家シンシア・カドハタによる <i>The Floating World</i> (邦訳『七つの月』1989)では、強制収容所を出たあとの1950年代アメリカで、12歳の日系少女が家族とともに職と安住の地を求めて、町から町へと漂泊する様が描かれる。少女は、タイトルの「ウキヨ」(the floating world)に込められた二つの意味「浮世」と「憂世」を体験しながら成長してゆく。彼女の自分探しの旅に同行してみよう。	
第2回	「越境する言葉と身体—多和田葉子をめぐって」	文学部総合文化学科 教授 孟 真理
6月1日(金) 14:00~15:30	国境を越える人の移動が常態化している今日、出自と異なる文化圏に身を置く作家たちや母語以外で書く作家たちの活躍が、ナショナルな各国文学という枠組みに揺さぶりをかけています。ドイツに住み日独両言語で執筆する作家、多和田葉子もそのひとりです。彼女の小説・エッセイ・紀行文を例にとり、複数の言語・文化間を往還する経験がいかに言葉と世界に対する感覚を活性化し、新しい言語表現を生み出しているかを考察します。	
第3回	「阿仏尼『十六夜日記』の世界」	文学部総合文化学科 教授 藏中 さやか
6月8日(金) 14:00~15:30	弘安二年(1279)十月、阿仏尼は鎌倉を目指して東海道を下る旅に出立しました。この旅は我が子為相の荘園所有権を守る訴訟のためのものでした。阿仏尼は、三年半ほどの間、鎌倉に滞在し文化の形成に寄与しましたが、今回は、鎌倉下向記にあたる部分を取り上げます。旅程を辿りつつ、阿仏尼の見た風景を想起し、旅中の心情を追ってみましょう。	
第4回	「モダンガール、歩く」	文学部総合文化学科 教授 飯田 祐子
6月15日(金) 14:00~15:30	大正の末から昭和のはじめ、都市空間を「歩くこと」が流行します。新しく出現した都市のペイヴメントは虚構の空間のように人々を魅了し、そこをただ散歩することがモダンな振る舞いとなりました。都市空間に現れたモダンガールも、歩き始めます。虚構の中で、あるいは現実。その重なりとずれを見詰めながら、当時の女性にとって歩くことがどのような意味を持ったのか考えてみたいと思います。	

受講資格	一般成人・学生 *原則全4回出席できること	【受講料】	無料
申し込み	【締切】2012年5月11日(金) 必着	【定員】	50名(先着順)
【申込方法】受講を希望される方は次のいずれかの方法でお申込みください。(電話不可) 「往復はがき」往信の文面に「氏名(ふりがな)」「郵便番号」「住所」「電話番号」を、返信の宛名面に、ご返送先の「郵便番号」「住所」「名前」をご記入の上、下記宛ご送付ください。 〒662-8505 西宮市岡田山4-1 神戸女学院大学 女性学インスティテュート 連続セミナー係 「メール」件名に「神戸女学院大学 女性学Inst. 連続セミナー(申込)」 本文に「氏名(ふりがな)」「郵便番号」「住所」「電話番号」「メールアドレス」を明記の上、下記宛ご送信下さい。 神戸女学院大学 女性学インスティテュート事務局 wsi-o@mail.kobe-c.ac.jp *本学学生は、女性学インスティテュートに直接お申し込みください。			
修了証	3回以上の出席者には「修了証」を発行いたします。		



【会場】

神戸女学院大学 ジュリア・ダットレー記念館 104教室(JD-104)

【交通機関】

阪急「門戸厄神」駅下車、西へ徒歩約15分

【問合せ先】

神戸女学院大学 女性学インスティテュート

TEL : 0798-51-8545

FAX : 0798-51-8527 e-mail : wsi-o@mail.kobe-c.ac.jp

〒662-8505 西宮市岡田山4-1 [JD館3F] URL <http://www.kobe-c.ac.jp/gender/>